

〈令和2年度〉ミライカナエル活動サポート事業 スタート支援コース

団体名	障がいのアナ
事業名	リモートとメディアで繋ぐ「障がいのアナ」
補助金額	200,000円（一般枠）
事業の目的	
「障がい」や「福祉」に関する情報を伝え、互いに尊重しあえる地域社会をつくることが目的です。さまざまな背景のある方にリモートで取材をおこない、インタビュー記事を作成しました。WEBメディアで藤沢市を繋ぎ、「障がい」という言葉がもっと柔らかくなるミライを目指しています。	
事業の内容と成果・効果	
- インタビュー活動をリモートでおこない、記事を掲載しました。毎月のニュースレターをはじめ、紙版のチラシの作成や配架、団体紹介カードの作成などを行いました。 2020年10月：準備期間として、zoom登録やLINE公式アカウント、SNSを整備。 2020年11月～2021年5月：取材を実施。中間評価アンケート、最終評価アンケートを実施。	
＜成果・効果＞	
- サイト表示総数を増やすことができました。3,159（2020年7月）→22,079（2021年5月） - 読者層は「障がいのある方が身近にいない人」が45.2%、30～40代が71%というアンケート結果になり、団体の狙うターゲット層に情報を届けることができています。 - インタビュー記事の作成 19本作成 取材先：19カ所、24人（聴覚障がい者、パラリンピアン、車いすネイリスト、ペット関連店舗、障がい者雇用企業、精神科病院、就労移行支援事業所等） - ニュースレターの作成 6本 - 紙版チラシ作成 2種類 1000枚ずつ（2020年11月、2021年5月） 配架先：33ヶ所（福祉施設、飲食店、クリニック、雑貨屋、学校等） - 団体紹介カードの作成 1000枚。名刺として挨拶時に使用。 - SNSを活用した配信 フォロワー数：LINE公式アカウント 105、Instagram 141、Twitter 38、Facebook 358 - 中間評価アンケート：回答数 31、最終評価アンケート：回答数 31	
 	
ホームページに取材記事を掲載（写真左）。写真右は紙版ニュースレターと名刺サイズの団体紹介カード	
事業を実施しての課題	
- 継続することが課題です。記事を計画した本数以上に作成しましたが、コンスタントな取材、記事作成はできませんでした。生活の中への「団体活動」の組み込み、作業の効率化が必要です。 - 幅広い対象を取材しているため、1人の読者が読む記事数を増やすこと、また、サイト上にある記事を増やしていくことが課題でもあります。見やすいサイトの構築や、記事作成の継続が重要です。 - 資金運営にも課題があります。活動に賛同してくれる方を増やす具体的な策が必要と感じました。	